



Microsoft®  
Soundscape

## Microsoft Soundscape 免責事項

Microsoft Soundscape は、疾病の診断、治療、予防のために設計、意図、または利用可能とされたものではなく、移動の補助や医療機器として使用するために設計、意図、または利用可能とされたものでもありません。また、専門的な医療上の助言、診断、治療、または判断に代わるものとして設計、意図されたものではありませんので、専門的な医療上の助言、診断、治療、または判断に置き換えたり、それらに代わるものとして使用されるべきものではありません。

Microsoft Soundscape のプログラムに組み込まれた地理上の位置データは、第三者のプログラムから取得されるため、表示される情報の正確性には制約がある可能性があり、ユーザー自身が、自らの行動、自らの安全と健康に責任を負うものとしします。

# Microsoft Soundscape

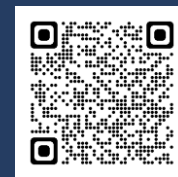
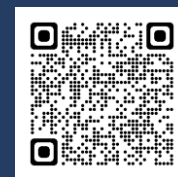
- Microsoft Research が開発した “3D オーディオ マップアプリ”
- 無料 iPhone アプリ
- 2018年にアメリカ、イギリスなどでリリース、2022年2月に日本語版がリリース

- Soundscape ウェブサイト

<https://www.microsoft.com/ja-jp/enable/soundscape>

- Soundscape アプリ ダウンロード

<https://apps.apple.com/jp/app/id1240320677>



# 各機能 1

## 周辺の情報を確認

- メイン画面にある「現在地」「周辺」「前方」のボタンで、周辺の状況を音声で確認
- 「周辺」では 4 つのポイント、「前方」では 5 つのポイントを、現在地からの距離とともに読み上げ  
マーカー
- 保存しておくことで、音声ビーコンやルートの中間地点として設定しやすく
- “検索ボックスから検索” “自動的に表示される「近くの場所」” から選択
- 大きな建物の中でより細かく入口などを設定したり、曲がり角などを設定することも可能  
→ 検索などで表示されたポイントの地図を移動してマーカーの場所を編集したり、「現在地」で表示された場所をマーカーとして保存

## 音声ビーコンの設定

- 行きたい目的地を音声ビーコンとして設定
- その方向からサウンドが聞こえるので、道に沿って進行

# 各機能 2

## ルート

- 複数の中間地点を設定して、ルートを作成
- 中間地点には音声ビーコンが設定され、中間地点に近づくと、自動的に次の中間地点に音声ビーコンが設定

## 共有機能

- 保存したマーカーや作成したルートは、他の Soundscape ユーザーと、AirDrop やメールで共有することが可能

## Street Preview

- 離れた場所からバーチャルでのその場所への道のりや交差点の状況を音声で確認

## バックグラウンドでの利用

- バックグラウンドでも動作させることが可能
- 他のナビゲーションアプリなどと併用

# Soundscape で利用している地図

アプリ内の「検索」、「近くの場所」情報

→ Bing マップ

アプリで表示される地図

→ Apple マップ

アプリでの読み上げ

→ OpenStreetMap

→ 変更後、1、2週間で Soundscape に反映

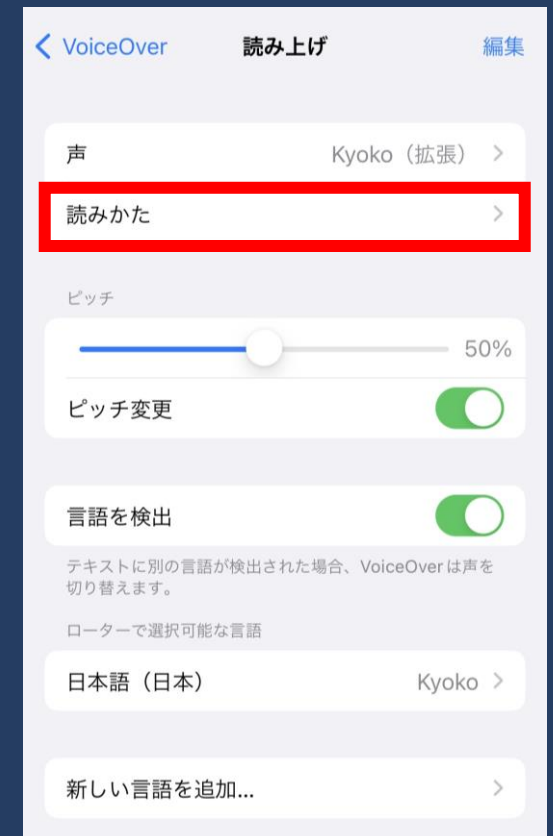


# Soundscape での読み上げ

- iPhone の声、読みかたを利用

## 読みかたが間違っている場合

- iOS全体での読み上げについては、Appleにフィードバック  
<https://feedbackassistant.apple.com/>
- iPhone (Apple ID) での読み上げ変更  
[設定]-[アクセシビリティ]-[VoiceOver]-  
[読み上げ]-[読みかた]



# ヘッドトラッキング機能搭載 ヘッドホンとの利用

- iPhone の向きに関係なく、頭が向いている向きで認識
- Apple AirPods Pro または Max
- Bose Frames Alot または Rondo
- Sony LinkBuds







Microsoft